

独立行政法人日本学生支援機構（JASSO）が発行する「ソーシャルボンド」への投資について

国立大学法人鹿児島大学は、このたび、衛生、福祉、教育などの社会的課題の解決に必要な資金調達を目的とした債券である、独立行政法人日本学生支援機構（JASSO）が発行する第 70 回日本学生支援債券「ソーシャルボンド」への投資（ESG 投資※）を実施いたしました。

本債券の発行によって調達された資金は、JASSO が担う奨学金事業のうち、貸与奨学金（第二種）の財源として活用されます。奨学金事業は、国連の持続可能な開発目標（SDGs）の目標 4「すべての人々に包括的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する。」の達成に貢献されるものです。

本学は、大学憲章に「学生の潜在能力の発見と適性の開花に努め、幅広い教養教育と高度な専門教育を行うとともに、地域の特性を活かした進取の気風を養う」ことを掲げています。学問の自由と多用性を堅持しながら、地域社会、我が国並びに国際社会に貢献し、本学の全構成員、卒業生、地域が誇りとするような「進取の気風にあふれる総合大学」を目指しており、本債券の発行目的が本学の理念に沿うものであることはもちろんのこと、経済的事由により修学を断念することのないよう、学生を支援する社会的意義にも賛同し投資を行ったものです。

さらには、令和 3 年 6 月に SDGs の達成に向けた取り組みを強化するために、全学組織として「SDGs 推進本部」を設置しており、今回の投資は、本学にとって SDGs 達成に向けた社会的使命・役割を果たすための行動の一つともなるものです。

本学は、今後も自ら困難な課題に果敢に挑戦する「進取の精神」とグローバルな視点を有する人材を育成し、「南九州から世界に羽ばたくグローバル教育研究拠点」として向上を図ります。南九州及び南西諸島域の「地域活性化の中核的拠点」として機能強化を進め、持続可能な社会の実現、SDGs 達成に向けてより一層取り組んでまいります。

（※）ESG 投資とは、環境（Environment）、社会（Social）、管理体制（Governance）の側面を考慮・重視して行う投資のことです。2006 年に国連で提唱され、投資判断する際の観点として定着しています。